

# いき活かわら版

北九州市「いきがい活動ステーション」(いきステ)の月刊情報紙

第53号

2022年4月6日

発行  
いきがい活動ステーション

## 音楽月の魅力で心豊かに♪ コンサート創りの仲間を募集

音楽を通して心豊かな社会づくりを続けている「百瀬ミュージックボランティアグループ」が、活動40周年の今年、新たな取り組みに挑戦します。それは活動の飛躍のための「新しい仲間」の大募集です。きっかけはこの2年あまり続くコロナ禍で気づいたこと。それは活動を「継承すること」「広げること」を担う人材

確保の大切さです。音楽を楽しみながら「共に生きる」社会づくりにあなたも参加しませんか？

▼誰もが主役でスタッフめざすは「共生社会」

「百瀬ミュージックボランティアグループ」は、代表の百瀬由のさんが40年前、小倉南区の特別養護老人ホームで音楽による訪問活動を始めたのがスタートです。生演奏を聴いたり一緒に歌ったりすることが心と体を豊かにすると確信した百瀬さんは、次第に仲間を増やしながら活動を広げていきました。



▶2019年の第17回「ワンコインコンサート」

百瀬さんたちは訪問施設の数を増やし、いろいろなコンサートに出演する一方、活動を組織化するために2000年にNPO法人百瀬ミュージックを設立。2003年には、障がい者も高齢者も大人も子供も一緒になってステージを楽しむ「ワンコインコンサート」をスタート。参加費500円(ワンコイン)で、だれもが主役でありスタッフでもあるという「共生社会」を実感するイベントです。2010年からは「かがやけ！えがおの輪ワンコイン

コンサート」と名前を変更、出演者とスタッフの一体感と「共生」の趣旨をさらに強調することになりました。今では百瀬ミュージックのメイン活動になっています。



▲障がい者も高齢者も一緒になって歌って踊るコンサート

▼コロナ禍で気づいた  
担い手確保の大切さ

ところが新型コロナウイルスで2020年から2年間は、このコンサートも開催中止を余儀なくされました。その間に気づいたのは40年の間に培った「音楽療法的活動」の継承と、それを担う仲間の確保の必要性です。

そこで、今年3年ぶりに開く「第18回かがやけ！えがおの輪ワンコインコンサート」(6月25日)開催に向けて、ステージでの出演者と、コンサート開催を支えるボランティアを募集して、これからの活動の担い手として育ててもらおうことにしました。音楽の素晴らしい力を実感し合

う楽しい仲間の募集です。

▼音楽と人が好きなら  
あなたも仲間になりませんか？

募集概要と問い合わせ先は次の通りです。

【養成コース】子供から高齢者までステージで活動したい人のための講座。原則月2回の練習をしながらワンコインコンサートなどの3つのコンサートに出演する。対象は子供から高齢者。軽度の障がいがある人も可。月額4000円の費用必要。  
【ボランティアコース】ワンコインコンサートへの成功に向け、会場設営、舞台道具設置・片付け、コンサート運営などの裏方を務めるための研修。コンサート当日、前日など。いずれも詳しくは百瀬ミュージックボランティアグループのHP「百瀬ミュージック」で検索。か電話(093-962-7977)で。

### 第18回

### かがやけ！えがおの輪 ワンコインコンサート



本当のバリアフリーとは？ 障がいのある方もない方も、高齢の人も子どもたちも、みんなと一緒に楽しいコンサートを創りましょう！

日時 6月25日(土) 13時~16時  
会場 北九州芸術劇場 大ホール  
小倉北区室町1丁目リバーウォーク6階  
参加費 500円

